

平成 27 年 8 月 6 日 (木) 多治見市学習館にて
 「くすりのヒミツにせまる! : 授業」「くすり教室 : 実験講座」:
 名城大学出前講座と共催

特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構 (NPO J-DO) は、国民に「くすり」を安全に安心して使うために、薬剤師や国民に対する教育講演や学会を開催しています。その活動の一つとして、小学生にも「くすり」のことを知ってもらい授業や体験実験を行っています。今回は、名城大学出前講座との共催で、平成 27 年 8 月 6 日 (木) に「くすりのヒミツにせまる! : 授業」「くすり教室 : 実験講座」を岐阜県多治見市学習館 (武藤淳司 館長) にて開催しました。当日は、小学生 21 名 (3 年生:6 名、4 年生:4 名、5 年生:9 名、6 年生:2 名) が参加し、授業と体験実験は、とても楽しく学べたと大好評でした。

多治見市学習館における「くすり教室」

日時: 平成 27 年 8 月 6 日 (木) 10 時 30 分 ~ 12 時 00 分

場所: 多治見市学習館 6 階美術室

内容

・「くすりってなに?」: 授業

くすりがどんな役割をもつのか、抗生物質であるペニシリンや認知症治療薬であるドネパジルの開発の歴史、新薬ができるまでの経緯について NPO J-DO の理事 間宮隆吉先生がスライドを使ってわかりやすく説明し、小学生は新薬ができるまでの期間が長いことなど興味を持っていました。

・「実験を始める前のお話」: Q&A 方式

くすりをどのように飲んだら良く効き、副作用を防ぐことができるか、Q&A 方式で小学生が答える、児童参加型で行いました。間宮隆吉先生がスライドを使ってわかりやすく説明し、小学生が元気に挙手して活発に問い掛けに答えてくれました。

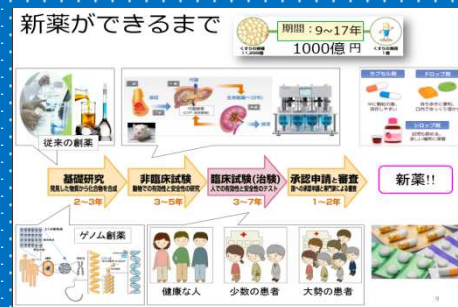
・「体験実験」

小学生は 4 グループ (1 グループ 5 ~ 6 名) に分かれ、内容をより理解できるように、間宮隆吉先生、名城大学薬学部の学部生が補助しながら、体験実験を行いました。

< 実験項目 >

1. どうして「カプセル」になっているのだろう?
2. コップ 1 ぱいの水かぬるま湯で「くすり」を飲むのはなぜ?
3. 水がなくても飲める錠剤があることを知ってる?
4. 胃でとけずに、腸でとける「くすり」があることを知ってる?
5. 「くすり」を「お茶」で飲むとどうになってしまうの?
6. 「うがいぐすり」でうがいをした後に、すっぱい食品を食べるとどうなるかな?

制作: 名城大学薬学部病態解析学 I
 (近藤麻生、成瀬 亮、毛利彰宏、野田幸裕)・薬品作用学 (間宮隆吉)
 監修: 名城大学薬学部
 NPO J-DO (鍋島俊隆)



実験 3 : 水がなくても飲めるくすりがあるの?

■ ふつうのくすり と 水がなくても飲めるくすりを水の中に入れて、溶ける速さをくらべると・・・

